

再興感染症の具体例

再興感染症として注目される疾患

細菌感染症

A型溶血連鎖球菌感染症、ペスト
ジフテリア、結核、百日咳、
サルモネラ、コレラ

ウイルス感染症

狂犬病	宿主域の拡大
デング熱・出血熱	
黄熱	地球温暖化と媒介蚊 の生息地域の拡大
ウエストナイル熱	

寄生虫・原虫感染症

マラリア、住血吸虫症
リーシュマニア
トキソプラズマ、エキノコックス症

世界で問題となっている再興感染症

マラリア: 世界人口の半数がマラリア危険地域に居住。
年間約2億人の新患者が発生し、300万人が死亡

デング熱: 18～20世紀にかけ世界中で流行。地球温暖化にともない、流行地域拡大が懸念。ウイルス感染力が強く、ヒト 蚊 ヒトで流行

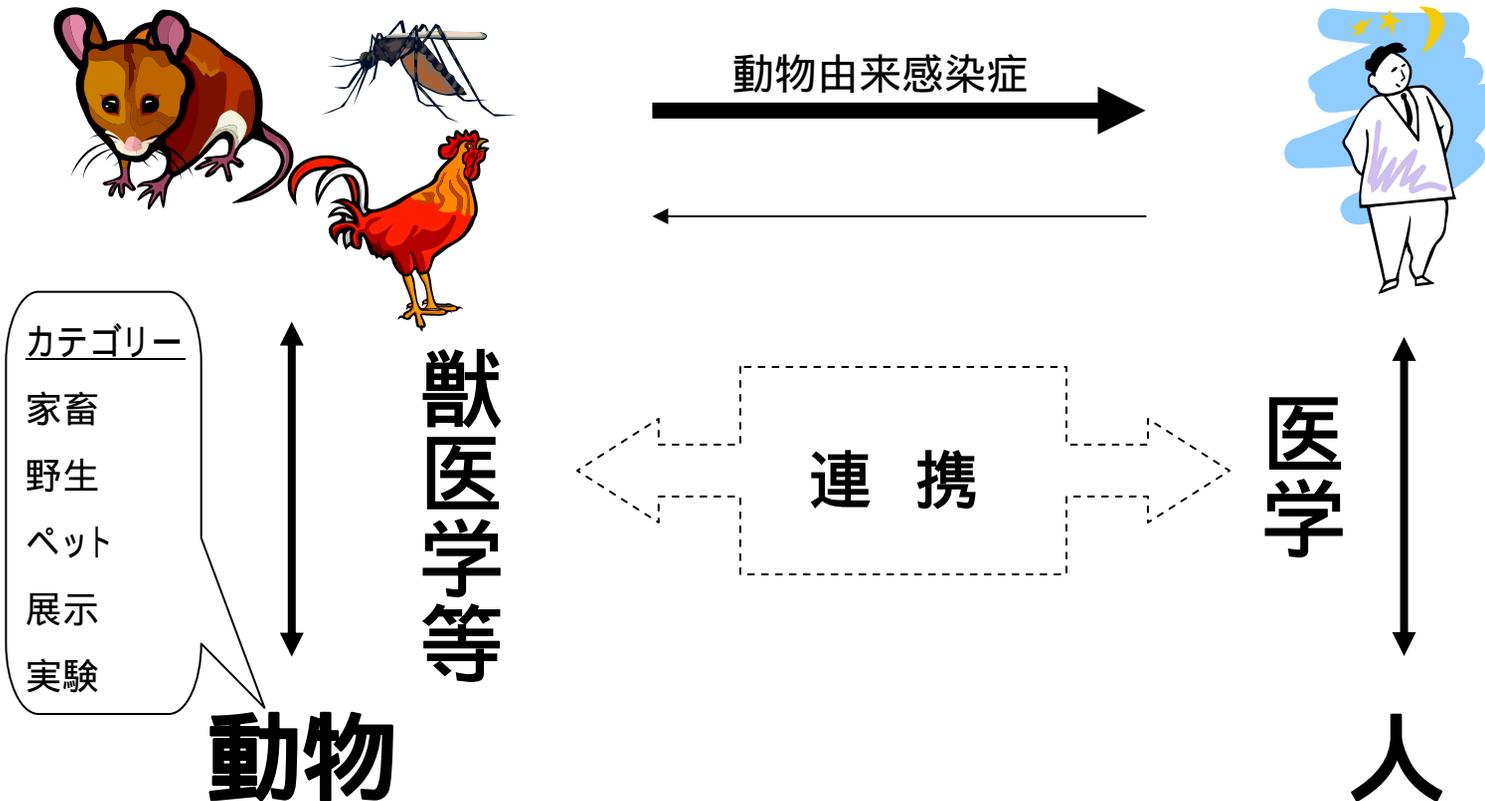
ウエストナイル熱: 1937年ウガンダで発見。アフリカ、中東、欧州で流行したが、突如、1999年に米国に上陸。これまでに1万7000名が感染し700名が死亡

日本で問題となっている再興感染症

結核: 新規患者数は横ばいで減少せず毎年5万人が感染し死亡は3千人で、途上国なみ。(世界の死者は毎年300万人)。多剤耐性結核菌が脅威。

動物由来感染症とは

動物がもつ病原体が人に感染する病気



- ・動物由来感染症とは、人獣共通感染症、ズーノーシスを、人の健康の視点で捉えた用語
- ・対策には、学問領域、省庁間、それぞれの連携が必要

エボラ出血熱(ザイール キクウィト 1995)

アウトブレイク 1976 スーダン、ザイール
1996 ガボン 2000 ウガンダ



エボラウイルス



ウイルスの固有宿主動物は未だに不明。最初の患者がどこで感染したか不明で、血液によりヒト ヒトに感染拡大